児童デイゆめときわ2　放課後等デイサービス事業所自己評価表（公表）

公表日：令和　5年　3月　1日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		1	利用者の人数によっては狭いと感じるときはあるが、個室を利用しながらスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			基本人員＋加配１人時配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	2	事業所までは階段のみでしか上がることができないため、車いすの方の受け入れはできない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			フロア会議は、職員が多い日を設定し、頻度も多く確保し話し合いをする機会を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			毎年保護者アンケートを実施し、意見や意向に添えるように配慮し、職員間で共有できるように努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	行われていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			定期的に研修を行っている。事業所別でも取り入れ、資料・感想等を記録に残している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			職員全員で話し合いを行い、保護者・子供のニーズと事業所のニーズをすり合わせ作成できている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		定められたフォーマットを利用して共有している。状況の変化に応じてその他の記録等も残すようにしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			職員間で話し合いを行い、担当者を決めて実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		マンネリ化しないように、また季節に合わせて活動内容も変更しているが、パターンが決まってしまっているところもある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3		平日、休日、長期休暇前に会議を設けて大まかな計画を立てているが、細やかにまで決められているときとそうでない時がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個別活動・集団活動は必要に応じて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2		その日の朝礼で申し送りはしているが、支援の分担は詳細には決めておらず、そのときにいる職員で対応している。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	6	1		保護者からの申し送りや出来事は報告し、記録に残すようにしており、必要に応じてフロア会議を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			支援記録は毎日取っており、問題点に関しては話し合い、改善できるよう努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			会議を行い、職員間で意見を出し合って、必要であれば見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	3		様々な活動は、目的を持って取り組めるように、スキルを上げて支援を行えるように努めている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			基本は管理者が出席している。難しい場合は、代理の役割ができる職員が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			学校等の連絡帳は、保護者の承諾がある場合は読ませてもらったり、送迎時に担任の先生とも情報共有できるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当児童なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3		就学前に利用していた園とは連携はなく、問題があったときに連絡する場合もある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当児童なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		2	必要に応じて連携を取りアドバイスや助言を頂くこともある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		6	コロナ禍でもあり、活動する機会はない。公園遊び等で機会を設けている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		1	6	コロナ禍でもあり、参加する機会はない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時にはしっかりとコミュニケーションを取り、連絡帳、電話連絡でも共通理解を持てるよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	4	2	1	保護者会等で必要に応じてアドバイスをしたり、ニーズや児童の特性にあったアドバイスなどを提案している。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に説明し、問い合わせがあった場合には対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者会や送迎時、電話対応にて保護者の気持ちに寄り添い助言やアドバイス等をさせてもらっている。

明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			年に１回保護者会を実施している。コロナ禍での配慮をした上で行っており、保護者同士の繋がりができるようにしている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情やトラブルが合った際は、受付者、対応者を設置し迅速に対応するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月ゆめ通信を内容や写真を付けて発行している。もう少し何を目的として屋ているのかを発信したい。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			厳重に注意するよう心がけている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			児童に対しては、絵カードや掲示物の提示を行い、保護者にはわかりやす言葉を使用する等の対応を臨機応変に行うよう努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			7	コロナ禍のためできていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4		マニュアルは作成して各職員に周知しているが、職員によっては把握できていない者もいると思う。 保護者に対する周知はできていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			地震、火災、水害を想定した避難訓練を実施している。今年は消防署に依頼し、心肺蘇生の講習をしてもらった。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			職員の研修に加え、虐待防止委員会を年に２回実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	3		身体拘束を行う児童がいないが十分配慮している。 また行う場合は、保護者の同意や記録を残すようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3		医師の指示まではないが、保護者にその都度確認を取っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			毎月ヒヤリハットを提出し、課題についてフロア会議で話し合い・共有をしている。